

バージョンヒストリー

## Nuendo 2.2.0 build 39

以下の問題点を修正しました：

- ・ フリーズ機能を使用すると VST インストゥルメント・トラックのオートメーション・レーンの順序が狂ってしまう問題。
- ・ クロスフェード部分で発生するクリックノイズの問題。
- ・ MOTU (Mark of the Unicorn 社) 製オーディオ・デバイスを使用している時に作業途中でサンプルレートを変更するとコンピュータがフリーズしてしまふ問題。
- ・ [Mac OS X]デュアル CPU 環境で ReWire を使用した場合にクラックル・ノイズが発生する問題。
- ・ スコア・エディタ上での歌詞のコピー/ペーストの問題。

## Nuendo 2.2.0 build 35

追加された新機能：

- ・ ロジカル・エディタのプリセットをキー・コマンドに割り当てることができるようになりました。
- ・ キー・エディタのコントロール・レーンでベロシティの編集作業を便利に行なうための MIDI フィードバック機能を搭載。

以下の問題点を修正しました：

- ・ マルチプロセッサ搭載コンピュータでオーディオ・エクスポートを行なった場合にデータが抜け落ちる問題。
- ・ MIDI クオンタイズ：複数パートにグループ・クオンタイズを適用した際に起こる問題。
- ・ OMF：Mac OS X で OMF ファイルをインポート時にファイルが見つからない問題。
- ・ スコア：すでにスコア・エディタが開いた状態で他のスコア・エディタを開こうとした時にクラッシュする問題。
- ・ スコア：異なるコンテキストからイベントを移動した際に起こる問題。

## Nuendo 2.2.0 build 33

### 追加された新機能：

- ・ Mackie Control 、Mackie Control Extender サポート：Mackie Control Extender デバイスを装備したMackie Controlシステムへ対応。すべてのフェーダー、エンコーダー/ディスプレイは継がったサーフェイスとして統合されます。エンコーダーセクションにチャンネル（チャンネルストリップモード、もしくはプラグイン）のデータが表示される時、パラメーターはすべてのデバイスのエンコーダーセクション上に左から右に向かって表記されます。フェーダーバンクナビゲーションとエンコーダーセクションはMackie Control ユニットからアサインします。

\* Mackie Control とMackie Control Extender をMIDI インターフェイスに接続する場合、コントローラーの台数分のMIDI ポートが必要となりますのでご注意ください（MIDI ケーブルの直列接続では動作しません）。アプリケーションでの設定は、下記の通りとなります。

1. “デバイス（Devices）”より“デバイスの設定（Device Setup）”を選択します。
2. 表示される画面で“追加/除去（Add/Remove）”タブをクリックします。
3. Mackie Control 用のデバイスを追加する為に、“Mackie Control”を選択して“追加（Add）”ボタンをクリックします。
4. Mackie Control Extender 用のデバイスを追加する為に、再度“Mackie Control”を選択して“追加（Add）”ボタンをクリックします。もし、Mackie Control Extender を複数台使用する場合、さらに“Mackie Control”デバイスを追加します。画面左の“デバイス（Devices）”リストには、“Mackie Control 2”、“Mackie Control 3”... と表示されます。

\* デバイスリストで上部に表示されているデバイスが右に配置されているチャンネルになり、デバイスリスト上の最下段のデバイスが左端のチャンネルになります。

5. 各デバイスに適切なMIDIポートを割り当てます。“設定（Setup）”タブをクリックして“デバイス（Devices）”リストに追加された“Mackie Control”を選択してください。画面右に表示された“MIDI 入力（MIDI Input）”、“MIDI出力（MIDI Output）”で接続されているMIDIポートを選択して、“適用（Apply）”ボタンを押してください。

同じように“Mackie Control 2”、“Mackie Control 3”...のMIDI ポートの割り当てを行います。

\* 使用中のMIDI ポートは“All MIDI Inputs”デバイスとして機能しませんのでご注意ください。

- ・ Generic Remote：Cubase SX 1.x に搭載されていたものの、Cubase SX 2.x で欠落していたパラメーターが再搭載されました。以下のパラメーターが追加サポートされます：

Volume、Mute、Solo、Select、Write、Read、Record Enable、Monitoring  
Pan：Left/Right、Front/Rear  
EQ：Bypass、On、Freq、Gain、Q  
Sends：On、Pre/Post、Volume  
Inserts：On、Bypass、Edit、（起動している）各種プラグインのパラメーター

- ・ “DirectMusic”設定オプションに“Use System Time”が搭載されました。録音されたMIDI ノートがMIDIトラック上で早い位（タイムライン上の手前に）記録されてしまう場合は本機能を使用ください。

・ 追加プラグイン：

Monologue

モノフォニック・アナログ・モデリング・シンセサイザーフィジカルモデリングテクノロジーに基づいたモノフォニック・アナログ・シンセサイザーです。CPUに大きな負荷を掛けることなく分厚いサウンドを生み出します。Monologue はベース、リード、シーケンスサウンドに最適です。

Embracer

サラウンド対応パッド・シンセサイザーパッド系サウンドを作成することを目的としてデザインされた、シンプル、且つパワフルなポリフォニックシンセサイザーです。簡単なエンベロープ、トーンコントロールの操作により、音作りを瞬時に音作りが行えます。Embracer の最も強力な機能はサラウンド出力に対応していることです。シングルクリックでステレオからサラウンドに切り替え可能、モノ～ステレオ～360°サラウンドまで、パッドサウンドを自在に操作できます。個性的な“eye” コントローラーはミックス上でサウンドを的確に配置することができます。

Tonic

アナログ・モデリング・フィルターMonologue のフィルターデザインを基に開発されたパワフル、且つ多目的なアナログ・モデリング・フィルターです。可変するキャラクターやパワフルなモジュレーション機能により、どんなスタイルの音楽にも柔軟に対応します。（オーディオの調節ツールとしてではなく）クリエイティブツールとしてデザインされました。

以下の問題点を修正しました：

- ・ 同時に複数のオーディオトラックをロケーターのパンチイン/アウトを使用し録音した際、ファイルの長さが不正確になる問題。
- ・ 不規則な原因によってVSTiチャンネルがミキサー上、間違った位置に立ち上がる、または消えてしまう、影になってしまう問題。
- ・ VST System Link 経由で接続されたVST インストゥルメント：MIDIエディタからMIDIノートをオーディションできない：エディタ内で選択されたノートが単調に発声してしまう（Note off では起こらない）問題。
- ・ 9pinデバイス（ミキシングデスクなど）からNuendoへコマンドを送るためにTimeBaseをVTM9モードで動作させている場合、レコード・パンチイン・コマンドに反応しない問題。
- ・ ID Controller - Nuendoが-oodB～+6dB巻でフェーダー・ポジションを正しく読めない問題。
- ・ VST Instruments: 同じ名前のプラグインが立ち上がっている状態からプラグインの順番が変更された際（スロット上、上部に位置するプラグインがはずされた場合）、次にプロジェクトを立ち上げる際、VST インストゥルメントが正しく配置されず、オートメーションへリンクされない問題。
- ・ Generic Remote : エントリーされている設定を削除し、他のリモート設定を読み込んだ際にクラッシュする問題。
- ・ クロスフェードにクラックノイズが生じる問題。
- ・ テンポチェンジの多い場所にMIDI パートをコピーした場合、タイミングが不正確になる問題。
- ・ テンポトラックでイベントのコピー＆ペーストができない問題。
- ・ 小節・拍でのタイム表示で作業をおこなっている場合、曲中のテンポ変更位置にてMIDI パートをオーバーラップさせるとオーバーラップしたパートが間違った位置で再生されてしまう問題。
- ・ テンポトラックがアクティブな状態で複数のパートの移動やコピーを行うと、間違った位置に移動する問題。

## Nuendo 2.1.2.28

以下の問題点を修正しました：

- ・ 例えばTimeBaseをVST System Linkのマスターとして使用した場合、Nuendoが外部MIDIデバイスの演奏を正しく扱えない問題。
- ・ オーディオ・コーディング・モード “3/O (L/R/C) and LFE” で出力したAC3ファイルをデコードすると長さが0msになってしまう問題。
- ・ [Mac OS X]エクスポート・ダイアログで “save as Dolby Digital Wave file” オプションを選択しても正しく機能せずに、出力されたファイルにところどころ無音部分ができてしまう問題を修正。
- ・ [Mac OS X]2GB 以上のファイルを読み込めない問題。
- ・ Byte Mode (Timestamp SMPTE) でエクスポートされたAC3ファイルをインポートした時にNuendoがクラッシュする問題。
- ・ インプットチャンネルとオーディオチャンネル間でチャンネル設定をコピー&ペースト時にクラッシュする問題。
- ・ MIDEX を使用する際 “ignoreportfilter” オプションが使用できるようになりました (リアルタイム・レコーディングした時にMIDIノートが実際の演奏ポジションよりも早い位置に記録されてしまう問題が生じる場合)。

## Nuendo 2.1.1.25

追加された新機能：

- ・ リモート・デバイスからのコントロール機能の追加
  - \* 下記2 項目は次のリモート・デバイスで有効です。
    - Yamaha DM2000v2/O1x
    - Steinberg Houston
    - Mackie HUI/Control,
    - Radikal SAC-2k
    - CM Motormix
- ・ 未使用のモーターフェーダーについては、フェーダー位置を最下に設定するようになりました。
- ・ ボタンモードに “Hold” モードを追加しました。ボタンを短く押した場合はパラメーターの「切り換え」が行われ、長く押した場合には、ボタンを離れた時にパラメーターをオフにします。

以下の問題点を修正しました：

- ・ マクロが適切に動作しない場合がある問題。
- ・ クリップがレイヤー化された際に、間違ったオーディオが再生される場合がある問題。
- ・ [Mac OS X]Mac OS X 10.3上で動作させた場合に、いくつかのボタンが表示されない問題。
- ・ [Mac OS X]特定のUSB オーディオ・デバイス (Emagic A 26/62 など) を併用した場合に生じる問題。
- ・ [Mac OS X]USB/Firewire オーディオ・デバイスのプラグ&プレイ検出を改善しました。
- ・ 特定の状況において、“ごみ箱を空にする (Empty Trash)” (プール) を行うとクラッシュする問題。
- ・ スコアエディタにおいて、[Ctrl]キーを押しながらノートシンボルのポップアップメニューを表示すると、クラッシュする問題。

- ・ [Mac OS X]モノオーディオチャンネルにUV22HR プラグインをインサートするとクラッシュする問題。
- ・ リストエディタにおいて、[Alt] キー+クリックによって“長さ (Length) ” / “ データ2 (Data2) ” の値を変更するとクラッシュする問題。
- ・ 複数のプラグインウィンドウを開き、いくつかを“常に前面に表示 (Always on Top) ”の状態にした上で、プロジェクトを保存し、その後ウィンドウの状態を変更しようとするウィンドウがフリーズする問題。
- ・ フリーズ済みのVST インストゥルメントを含むWindows 版のプロジェクトをMac OS X 版で読み込むと（あるいはその逆を行うと）クラッシュする問題。
- ・ ミキサー画面を“常に前面に表示 (Always on Top) ”の状態にすると、フェーダーの“チャンネルのリンク (Link Channels) ” / “ チャンネルのリンクを解除 (Unlink Channels) ”設定を行えない問題。
- ・ ステレオパンモードの切り換えが正しく動作せず、ステレオチャンネルの片方がミュートされてしまう場合がある問題。
- ・ スコアエディタにおいて、レイアウトモードで“Blocktext”機能を使用すると、エラーを生じる問題。
- ・ いくつかのサンプルエディタが開いている状態で、1 つのサンプルを編集すると、他のサンプルエディタでも同じサンプルを表示する問題。
- ・ 複数のレーンを含むパートをパートエディタで開き、範囲選択ツールを使用すると、選択範囲を正確にハイライト表示せず、すべてのレーンをハイライト表示する問題。
- ・ パートエディタにおいて、選択範囲を新しいレーンに正しくコピーできない問題。
- ・ トラックディレイ機能を使用すると、アレンジウィンドウ上の実際のオーディオイベントも移動される問題。
- ・ マクロを使用すると、編集履歴が失われる場合がある問題。
- ・ 特定の状況において、多くのイベントを選択した上で、“DC オフセットの除去 (Remove DC Offset) ”を行うとクラッシュする問題。
- ・ マーカートラックの読み込みを行うとクラッシュする場合がある問題。
- ・ 特定の状況において、サイクルモードの時にオートメーションが正しく動作しない問題。
- ・ DirectX プラグインのメモリ管理方法を改善しました。
- ・ 複数のプロジェクトを開いている際に、プラグインエディタウィンドウを開いたままプロジェクトを閉じるとクラッシュする問題。
- ・ DM2000 リモートにおける、いくつかのバグを修正しました。
- ・ “デバイス設定 (Device Setup) ”において、Roland MCR-8 リモートを有効にするとクラッシュする問題。
- ・ レイテンシーバッファサイズを大きく設定すると、“00:00:00:00”の位置にあるサンプルが、オーディオ書き出しの際に欠落する問題。
- ・ WMA ファイルの“ロスレス (Lossless) ”モード書き出しを改善しました。

## Nuendo 2.1.0.10

### 新機能：

- ・ LAN/WAN を介して同じプロジェクトを複数ユーザーで開きながら編集したり編集結果を受信するネットワーク・コラボレーション機能を搭載。
- ・ Cubase SX2.0 に搭載された全ての機能を搭載。

## 問題の修正：

- ・ 名称設定されていないトラックのイベントを書き出した際にフリーズする問題。
- ・ “Insert Silence” ([Shift]+[Ctrl]+[L]) を実行した際にフリーズすることがある問題。
- ・ REX ファイルを含んだプロジェクトを起動した場合、クラッシュすることがある問題。
- ・ パートエディタのグループオンタイプとマッチオンタイプで試聴機能が動作しない問題。
- ・ スピーカーツールがパートエディタとスタックモードのトラックで使用できない問題。
- ・ サンプリングレートを変更した際にプロジェクトテンポに同期可能なプラグインのテンポも変わる問題。
- ・ Mac OS X で “Process” メニューに “Reverse” が表示されない問題。
- ・ プロジェクトにクロスフェードのオン/オフの設定が保存されない問題。
- ・ “Auto Crossfades” が適切に動作しない問題。
- ・ アクティブプロジェクトを切り換えた後、チャンネルのルーティング設定が “No Bus” になる問題。
- ・ オフラインプロセス： “Preview” ボタンがエラーを引き起こす問題。
- ・ オーディオデータを含まないクロスフェードのパートをダブルクリックするとフリーズする問題。
- ・ オフラインプロセス履歴： “Acoustic Stamp” を他の処理に変更することができない問題。
- ・ チャイルドバスから入力してレコーディングすると Track-PDC が失敗する問題。
- ・ Waves バージョン4.0 を使用し保存したプロジェクトでのWaves のプラグイン設定の問題。
- ・ “Bounce Selection” の問題。
- ・ スクラブの早送りを停止する際のレスポンスを改善しました。
- ・ Mac OSX：SDII で歪みを起こす問題。
- ・ ダイレクトモニタリング：モニターのパリウムが6dB大きかった問題。
- ・ ミキサーが “always on top” に設定されている際、フェーダーのリンク/リンク解除が可能になりました。
- ・ Rewire：Ableton社Live と一緒に使用した際のいくつかの問題。
- ・ 5.1 + 10.2 でのミックスダウン正常に動作するようになりました。
- ・ チャンネル/ミキサー設定にサラウンドパンナー設定が保存されない問題。
- ・ Mac OS X：サラウンドパンナーのグラフィックの問題。
- ・ MIDI デバイスマネージャー：xml の読み込みの際にクラッシュする問題。
- ・ ドラムエディタ：Out-note の設定が正常に反映されない問題。
- ・ エフェクトを追加しなくてもMIDI センドスロットをアクティブにできるようになりました。
- ・ エディタ上でドラッグ+ALTでのイベントのリピートコピーができない問題。
- ・ MIDI デバイスの作成ができない問題。
- ・ 再生を停止した際にCC#64 (Sustain off) の情報を送信するようになりました。
- ・ 制御キーを使用することで、MIDIトラックの出力先をすべて同じ出力先に変更できるようになりました。
- ・ スコア：はじめてエディタを開く際に異なるフォントが表示される問題。
- ・ スコア：設定画面を閉じる際にクラッシュすることがある問題。
- ・ スコア：“MIDI Meaning” 画面の%値での編集の問題。
- ・ スコア - レイアウトファンクション - Clean up layout：チェックマークが設定されていないのに隠したノートまでも表示される問題。
- ・ フォルダーパートが選択された状態で “Part to Event” を実行するとクラッシュする問題。
- ・ 他のトラックでレコーディングしている時にフォルダトラックを操作するとクラッシュする問題。
- ・ 2つのフォルダトラックのイベントを削除するとクラッシュする問題。
- ・ マルチパートを編集する際の問題。
- ・ ループリピートが正常に動作しないの問題。
- ・ オートメーション：パンのトリムモードをオフにしてもパンフェーダーディスプレイを更新しない問題。
- ・ オートメーション：MIDI パートをオートメーションと一緒に動かした後、アンドゥするとクラッシュする問題。
- ・ オートメーション：Cubase SX1.06 プロジェクトで作成したVSTi オートメーションのプレイバックの問題。
- ・ それぞれスタートポイントが異なる複数のイベントのオートメーションを正常にコピーできない問題。

- ・オートメーション：ソングの位置がアクティブのサイクル範囲を越えている場合、チェイスができない問題。
- ・オートメーション：いくつかのパフォーマンスに関する問題。
- ・オートメーション：再生中にミュートのトリムオートメーションがモードを不能になる問題。
- ・オートメーション：オートラッチモードで上書き録音する際、録音時に古いデータを読む問題。
- ・Mackie Control：Nuendo を最小化した時、チャンネルバンクがチャンネル1 にリセットされる問題。
- ・Mackie Control：プロジェクト/ミキサーボタンを押しても各画面が前面に表示されない問題。
- ・Mackie Control：ソロボタンが正常に機能しない問題。
- ・Mackie Control：エンコーダーのプッシング機能をサポートしました。ロータリーエンコーダーを押し、値をセンタリングすることが可能になりました。
- ・Mackie Control：Nuendo が終了時に正常に解放しない問題。
- ・Mackie Control：エディットボタンが動作するようになりました。
- ・Mackie Control：ロータリーエンコーダーのセンターLED が光るようになりました。
- ・Mackie Control：“Page：xx/xx”の最後の文字がディスプレイに表示されるようになりました。
- ・Mackie Control - FX Send section：アウトプットバスの選択が可能になりました。
- ・Houston：フェーダーセットが選択できるようになりました。
- ・OSX：Digigram Pocket V2 で16bit 以上の使用が可能になりました。
- ・OSX：Aardvark USB 3 の8bit での使用がなくなりました。
- ・OSX：Event EZ-Bus をサポートしました。しかしながら、ハードウェアのクロックの問題上、制限がございます。
- ・OSX：Digidesign CoreAudio Driver v6.1.2 での問題。（Digi 002, Digi 002r, M-Box）
- ・VST5 プロジェクトの読み込み：オーディオトラックが正常に再生されるようになりました。
- ・VST5 プロジェクトの読み込み：MIDI が正常に再生されるようになりました。
- ・VST5 プロジェクトの読み込み：エフェクトセンドの設定が正常に読み込まれるようになりました。
- ・SX 1.06 プロジェクトの読み込み：MIDI デバイスの設定が正常に読み込まれるようになりました。
- ・SX 1.0 x プロジェクトの読み込み：VSTi チャンネルを含むプロジェクトを正常に読み込むようになりました。
- ・Nuendo 1.x + SX プロジェクト：VST アウトプットが正常に設定されるようになりました。
- ・Nuendo 1.x プロジェクト：インプットの設定が正常に読み込まれるようになりました。
- ・WMA VBR の書き出しの問題。
- ・OMF：レイヤーされたイベントでの問題。
- ・OMF：オーディオファイルがプロジェクトに含まれない場合、書き出しファイルが削除されなくなりました。
- ・プレイバック中にロケーターを移動するとクラッシュする問題。
- ・トランスポートバー上のフレームディスプレイの誤表記を解消しました。
- ・Bar Display nudge を改善しました。
- ・Tempo：同じポジションで複数の拍子をインサートすることができなくなりました。
- ・ミキサーを“Always on top”にアサインした際、プロジェクトウィンドウでのコピー/ペーストが正常に動作しない問題。
- ・マクロで[option]/[Alt]キーを使用したキーコマンドの問題。
- ・複製したデバイスを削除するとクラッシュする問題。
- ・ビデオサムネイルが正常に動作しない問題。
- ・“Save project to new folder”を実行した際に、現在のプロジェクトフォルダに録音ファイルが作成されない問題。
- ・ウィンドウレイアウトに正しいプロジェクトウィンドウの位置とサイズを保存しない問題。
- ・“Save new version”を実行した後、異なるプロジェクト名が表示される問題。
- ・ズーム：横のズームを変更すると場合によりフリーズする問題。
- ・レコーディング中にフォルダトラックの録音をオンにするとクラッシュする問題。
- ・フォルダパートを削除するとクラッシュする問題。
- ・SX1.06 プロジェクトの読み込み：マスターチャンネルオートメーションの読み込みの問題。
- ・フォルダトラックで“Insert Silence”を実行できるようになりました。

- ・ プロジェクトブラウザ：“time format”メニュー から“user definable framerate”を実行することができるようになりました。
- ・ オーディオパートエディタでサイクルを正常にドラッグできるようになりました。
- ・ キーエディタ： ピアノロールでのマウスの位置が正常に表示されるようになりました。

## Nuendo 2.1.0.10

### 新機能：

- ・ MIDI デバイスをインストールした場合、MIDI ポートが2重に表示されてしまう問題に対して、MIDI ポートフィルターを新たに装備しました（Windows のみ）。詳細はMIDI Port Filter に関するReadMeをご参照下さい。

### 問題の修正：

- ・ エラー表示“Corrupt Projects”に関する問題
- ・ Macintosh 版におけるパフォーマンスの改善
- ・ 非常に長いオーディオファイルを使用した際にクラッシュする問題
- ・ Virtual Guitarist のオートメーショントラックを削除した際にクラッシュする問題
- ・ クロスフェードエディターを使用した際にクラッシュする問題
- ・ Reverb B などいくつかのプラグインをミキサーに割り当てた際にクラッシュする問題
- ・ オーディオトラックを削除した際にクラッシュする問題
- ・ レンジツールを使用してオーディオデータ及びオートメーションデータを一緒に動かした際にクラッシュする問題
- ・ その他システムクラッシュに関する諸問題
- ・ 短いクロスフェードを行った際にノイズが発生してしまう問題
- ・ ASIO ダイレクトモニタリングの改善
- ・ ステレオプラグインをサラウンドチャンネルで使用した場合、それ以外のチャンネルがミュートしてしまう問題
- ・ プロジェクトのスタートタイムが00:00:00:00 以外ではMTC に追従しない問題
- ・ プロジェクトをNTSC（29.97 もしくは30 フレーム）に設定した場合、SMPTE ジェネレータが正常に動作しない問題
- ・ プロジェクトのスタートタイムを22:00:00:00 から00:00:00:00 の間に設定した場合、ドロップフレームを正確に読み込めない問題
- ・ “Musical”グリッドを選択してVST インストゥルメントのオートメーションを使用した場合にテンポチェンジが追従しない問題
- ・ エディットモードの改善
- ・ タイムコードポジションが12:30:00:00、サンプルレートが44,1 KHz に設定されていた場合正確に動作しない問題
- ・ Mp2 ファイルのインポートにおける問題
- ・ タイムラインの計算が正確になりました
- ・ ミキサールーティングのいくつかの問題